

愛知県立犬山高等学校 家庭科研究授業レポート

家計の経済構造やリスクを踏まえた金融資産のマネジメントについて理解することと、生涯安定した経済生活を営めるように経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解することを目的とした授業が実施されました。

1 時間目 2023 年 10 月 24 日 (火) 12:00~12:50

1 時間目のテーマは「生涯の経済生活を見通す」です。

現在の社会における様々な雇用形態のあり方や違いを知り、経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について考えていきます。

はじめに、副教材 p106「自分のお金をきちんと管理できる？」をチェックし、現時点でのお金との関わり方について確認しました。12 の質問のうち Yes の数が多いほどお金管理の上級者となります。この結果を踏まえ本時からの 5 時間は、お金や経済に関する内容を学んでいくことが先生から伝えられました。

授業の前半は、雇用形態についてです。

教科書 p242「さまざまな働き方」で雇用形態の種類とその特徴を確認した後、説明を読んで選択肢から雇用形態を選ぶ問題に取り組み理解を深めました。

問題：次の文章が説明している雇用形態を選択肢から選び、記号で答えよう。(答え)

- ①雇用主の会社から別の会社に派遣されて働く働き方。登録型と常用型がある (オ)
- ②時間単位の働き方で、臨時的なことが多い (イ)
- ③時間単位の働き方で、短時間のことが多い (ウ)
- ④フルタイムの有期雇用。契約期間は原則として最長 3 年 (エ)
- ⑤雇用契約期間の定めがない雇用。多くの場合昇給や賞与、退職金や各種手当などの給与制度があり、社会保険に加入できる (ア)
- ⑥いわゆるフリーターと呼ばれる雇用 (イ) (ウ)
- ⑦特定の企業や団体・組織に専従せず、好きな時間と場所で、自分の専門知識やスキルを提供して対価を得る働き方 (キ)
- ⑧法人を設立せずに自ら事業を行う (カ)

選 肢	ア 正規雇用の正社員 (正職員)	イ 非正規雇用のアルバイト	ウ 非正規雇用のパート
	エ 非正規雇用の契約社員	オ 非正規雇用の派遣社員	カ 個人事業主
	キ フリーランス		

※政府は、公共職業安定所ともいわれる (ハローワーク) や、各都道府県を中心に若者の能力向上と就職推進を図るためのサービスである (ジョブカフェ) を設置して、就職支援を行っている。

先生からは、愛知県のジョブカフェ「ヤング・ジョブ・あいち」について紹介があり、それぞれタブレットでセミナーや見学会などの実施状況を確認しました。

次に、正規雇用と非正規雇用のメリット・デメリットについて考えました。

正規雇用と非正規雇用のメリット・デメリットを考え、ロイロノート・スクールで表を完成させました。

【生徒の回答例 (抜粋)】

	メリット	デメリット
正規雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用契約期間の定めがない雇用 ・多くの場合昇給や賞与、退職金や各種手当などの給与制度があり、社会保険に加入できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・責任が重い ・残業・休日出勤や転勤の可能性がある

	・キャリア形成の機会が多い	
非正規雇用	・仕事とプライベートを両立しやすい ・転勤や異動がない ・副業ができる場合が多い	・雇用が安定しない ・キャリアの継続が難しく、仕事上の学びが浅くなりやすい ・生涯得られる賃金に大きな差が生じる

表の作成後、それぞれのワークシートにも記入しました。

授業の後半は、労働力率と生涯賃金についてです。

教科書 p243「女性が就業を継続・中断した場合の賃金比較」では、①就業を継続、②育児休業を取得して就業継続、③離職後子が6歳で再就職、④離職後子が6歳でパート・アルバイトに、の4パターンの給与、退職金、逸失損失が比較できます。この比較から、自分に子どもができた場合、①～④のいずれを選択するかとその理由を考えました。

【生徒回答（抜粋）※①④を選択した生徒なし】

②育児休業を取得して就業継続

- ・子どものそばにいてあげたいが、生活するためにはお金が必要。子どもを預けて仕事も育児も頑張る。
- ・再就職は難しいので、給与を多く得るためには育児休業を取得して就業継続するべきだと思う。

③離職後子が6歳で再就職

- ・6歳までは子育てで最も大変な時期だと思うので、世話をし一緒に遊んであげたい。

続いて、教科書 p243「労働力率の就業形態別内訳（男女、年齢階級別）」を確認しました。

女性は男性に比べ非正規雇用が多いこと、女性が結婚・出産期にさしかかる25歳以降で正規雇用が減少して非正規雇用が増加することで、女性の生涯賃金は男性よりも低くなり、社会における自己実現も難しくなる傾向があることが分かりました。

最後に、生涯賃金の男女格差をなくし、女性が正規雇用として活躍できる社会にするためにはどうしたらよいかを考え、ロイロノート・スクールに記入し授業は終了しました。

【生徒の考え（抜粋）】

- ・育児と両立できるように在宅ワークを取り入れる。
仕事に集中できるよう、保育園などの預かり時間や期間を延長する。
- ・出産・育児に関するサポートを増やす。育児休業や介護休業を取得しやすいようにする。
- ・自分たちができること：妊婦さんや乳幼児がいる方を精神面からサポートする。
国ができること：育児休業を取得しやすくする。保育士の給料を上げる。
- ・企業：結婚生活に理解を持ち、積極的に支援を行う。
国：幼稚園や保育園を利用したい人全員が子どもを預けて働けるように、保育士などの給料を増やす。
家庭：男女に対する先入観を捨て、男女ともに育児をして働けるようにする。



2時間目 2023年10月31日(火) 12:00~12:50

2時間目のテーマは「家計をマネジメントする～家計とは～」です。国民経済と国際経済のつながりを理解したうえで、家計をマネジメントできるようになるための知識を身につけます。

授業の前半は、国民経済と国際経済のつながりについてです。

はじめに、教科書 p250 で、「家計」、「企業」、「国・地方公共団体」で構成される国民経済の仕組みと、国民経済と国際経済とのつながりについて確認しました。労働力と賃金、税金・社会保険料と社会保障、ものやサービスと代金、投資と配当金、輸出と輸入などお金の流れから経済の仕組みを確認しました。

次に、国内総生産（GDP：Gross Domestic Product）と家計の関係について確認しました。

国内総生産は1年間など一定期間内に生み出された付加価値の総額で、国の経済規模を表す重要な指標であり、その変化率が経済成長率です。

家計は国内総生産の約5割を占めており、経済に与える影響が大きいことから、経済をどのように発展させるかは一人一人のお金の使い方によって決まることを確認しました。

2022年度の世界のGDPトップ10の中で、アメリカ、中国に続いて日本は3位でしたが、円安など国際的な状況を背景に2024年度には4位に下がる可能性があることが先生から伝えられました。

ここで、ESG（Environment Social Governance）投資について確認しました。

ESG投資とは、環境（CO₂排出量削減や再生エネルギー利用など）、社会（労働環境の改善、女性の社会進出支援や地域活動への貢献など）、ガバナンス（情報開示、健全な経営など）を評価して行う投資のことです。

また、資源循環と経済成長の両立を目指すサーキュラーエコノミー（循環型経済）に世界が移行しつつあること、その中で何にお金を使い、投資していくのかを自分で考え、行動する必要があることが先生から伝えられました。

次に、為替相場について確認しました。

ニュースなどで見聞きする機会が増えている「円安」から、家計と国民経済や世界経済との関わりについて考えていきます。

- ・円安：外国の通貨（ドルなど）の価値に比べて円の価値が低くなること
- ・円高：外国の通貨（ドルなど）の価値に比べて円の価値が高くなること

例）輸入品の時計の値段で考えてみよう



円安・円高が消費や経済に与える影響についてワークシートの問題に取り組み、理解を深めました。

授業の後半は、家計（収入と支出）についてです。

はじめに、「マナブとメグミのお金のキホンBOOK（p9）_給与明細の例」を確認しました。

健康保険、厚生年金、雇用保険は社会保険料、所得税、住民税は税金で、それらを非消費支出ということ、総支給額から非消費支出を引いた残りが可処分所得（手取り収入）ということが分かりました。

ここで、税金と社会保険料の種類についても確認しました。

【税金と社会保険料】

所得税	所得に対して課される税金	
住民税	都道府県民税と市区町村民税の2つがある	
健康保険	病気、けがをした場合に、一定の自己負担で誰もが医療にかかることができる制度	
介護保険	加齢に伴い介護が必要となった者を支える制度 40歳以上の人が加入	
年金保険	国民年金（基礎年金） 20歳から60歳未満の全ての国民が加入	老齢・障害・死亡等に伴う所得の減少を補てんし、高齢者・障害者・遺族の生活を保障する制度
	厚生年金 会社員や公務員などが加入	
労災保険	業務や通勤時に災害に遭遇した場合に、労働者やその遺族へ必要な保険給付を行う制度	
雇用保険	失業した人等へ失業等給付を行う制度	

次に家計の支出について確認しました。

「シリーズ教材お金のキホン アクティブラーニング型授業プログラム 家計管理編 授業進行スライド」で一人暮らしに必要なお金について確認した後、教室の席の列ごとに各費目の金額を考えロイロノート・スクールに記入しました。

【各列の結果】

費目／金額	1列	2列	3列	4列
住居費	60,000円	50,000円	50,000円	70,000円
水道光熱費	30,000円	30,000円	25,000円	5,000円
通信費	15,000円	10,000円	15,000円	8,000円
食費	15,000円	25,000円	30,000円	20,000円
交通費	600円	10,000円	50,000円	50,000円
被服費	50,000円	50,000円	20,000円	17,000円
教養娯楽費	45,000円	30,000円	25,000円	20,000円
預貯金	45,000円	10,000円	30,000円	20,000円
合計	260,600円	215,000円	245,000円	210,000円

何にどのくらいお金を使うかは人それぞれですが、家計は収入（入ってくるお金）と支出（出ていくお金）から成り立っていること、家計管理によってお金の使い方を見直すことで無駄遣いを減らすことができ、家計に余裕が生まれやすくなることが分かりました。

最後に教科書 p245「収入と支出構成」を確認した後、ワークシートの問題に取り組み授業は終了しました。



3時間目 2023年11月7日(火) 12:00~12:50

3時間目のテーマは、「家計をマネジメントする～家計資産のマネジメント～」です。
家計資産と貯蓄や保険、運用におけるリスク管理の考え方を理解します。また、多重債務が発生するしくみとその解決策を考えます。

授業の前半は家計資産と運用についてです。

はじめに、「シリーズ教材お金のキホン マナブとメグミのお金のキホン BOOK(p5)_資金計画を立てる」で、就職後10年間のライフイベントと費用のイメージを確認しました。

その後、教科書 p246「ライフステージ別消費支出の構成」で、ライフステージ別の消費支出の特徴を考えました。

【ライフステージ】

- ①夫婦のみ(夫30歳代)、②夫婦と子ども2人(長子が未就学児)、③夫婦と子ども2人(長子が大学生など)、④夫婦のみ(世帯主が65歳以上)

問題(答え)

- (1) 最も消費支出が高くなる世帯構成(③)
(2) ①が他のライフステージより特に消費支出が多い費目(住居費)
③が他のライフステージより特に消費支出が多い費目(教育費、食料費)
(3) 家計の消費支出に対する食料費の割合を何と言うか(エンゲル係数)

エンゲル係数は消費支出に対する食料費の割合で、生活レベルの指標として用いられます。その値が低いほど生活が豊かだと言えます。

- ・近年日本では、円安の影響や食品価格等の高騰とともに上昇傾向にある
 - ・アメリカやドイツでは低く抑えられている
 - ・主要国では世帯あたりの可処分所得が上昇する中、日本は減少している
- 上記のことが先生から伝えられました。

次に、教科書 p246「ライフイベントと支出(Aさんの例)」を確認しました。

子どもの大学進学時、定年退職後は支出が収入を上回ることが分かりました。

このように、人生には大きなお金が必要になる場面がいくつかありますが、特に大きなお金が必要になるのが「教育資金」、「住宅資金」、「老後資金」です。これらの支出に備え、お金を貯めておく必要があります。

支出の備えには、「貯蓄」と「保険」があります。教科書 p248 で内容を確認しました。

貯蓄は必要な金額に達するまで時間がかかり、保険はいつでも保障が受けられます。ただし、「もしも」が起こらなかった場合、支払った保険料は貯蓄のように手元には残りません。

貯蓄と保険のまとめとして、ワークシートの問題に取り組み理解を深めました。

続いて、資産形成について確認しました。

はじめに、「金融資産」とは何かを確認しました。

金融資産：現金、預貯金、有価証券(株、投資信託、債券)

ここで、預貯金の利息について事例をもとに確認しました。

普通預金金利(年率、税引前) 0.001% 100万円を1年間預けると：利息 10円

定期預金金利(年率、税引前) 0.002% 100万円を1年間預けると：利息 20円

銀行の普通預金や定期預金には金利に応じた利息がつきます。銀行によって金利の違いがあるため、金利やサービスなどそれぞれの特徴を理解して、銀行を選択する必要があることが分かりました。

次に、家計の金融資産構成の日本とアメリカの比較^{※1}を確認しました。日本は現金・預貯金が54.2%を占めるのに対しアメリカは12.6%と少なく、株式・投資信託が51.3%を占めています。日本は、株式と投資信託を合わせて15.4%なので、資産運用の割合が少ないことが分かりました。

ここで、「資産運用（投資）」とは何かについて確認しました。

「シリーズ教材お金のキホン アクティブラーニング型授業用プログラム 資産形成編 授業用スライド」などで、お金が働いて利益が出る仕組みや金融商品の特徴、資産運用のポイントを確認しました。

【様々な金融商品】

- ・株式：企業の成長に応じた利益を目指す
- ・債券：決められた年数お金を貸すことで利益を得る
- ・投資信託：お金を出し合って運用による利益を目指す

【リスクとリターン】

リスクとは、投資によって期待されるリターン（成果）の「振れ幅」をいう（下方向に変化するだけを指すものではない）

【リスクの種類】※²

- ・株価変動リスク：株（株式）の価格が上下する可能性のこと
- ・信用リスク：株式や国債・債券などを発行している国や企業が、財政難や経営不振などを理由に投資家から預かっていたお金（元本）の利息の一部または全部を返済する能力がなくなること
- ・流動性リスク：市場（マーケット）で金融商品を売りたいときに売ることができなかつたり、希望する価格で売れなかつたりする可能性のこと
- ・金利変動リスク：金利の変動によって、債券の市場価格が変動する可能性のこと
- ・為替変動リスク：異なる通貨の為替相場の動きにより、外貨建ての円換算による金融商品の価値が変動する可能性のこと

【リスクを抑えるために】

- ・長期投資：長期間投資することで、リスクを減らすことを目標にする考え方
- ・積立投資：同じ商品を定期的に一定額購入することで、平均購入単価の安定化が期待できる
- ・分散投資：投資先を1つに絞らず、いくつかに分散することで、リスクを抑えられる

【投資を考えたときのポイント】

- ①投資に適したお金や目的を見極めて行う
- ②リスクとリターンをよく見極める
- ③長期・積立・分散投資でリスクを抑える
- ④情報から主体的に考え、判断する
- ⑤自分も社会も豊かになる投資先を考える

投資は、自分の資産を増やすための行動であると同時に、経済成長を支えることにつながる社会貢献であることも確認しました。

投資のまとめとして、金融商品の特徴についてワークシートの問題に取り組み理解を深めました。

授業の後半は、ライフプランの中での借入れ（ローン・クレジット）についてです。

はじめに、「シリーズ教材お金のキホン マナブとメグミのお金のキホン BOOK(p35)_ローンの種類」を確認しました。

- ・使いみちを限定したローン：自動車ローン、住宅ローン、教育ローン
- ・使いみちが自由なローン：カードローン

ローンを利用することで、必要なときに住宅などを手に入れることができますが、注意する点があります。ローンで（お金を借りて）買い物をすると、借りたお金とは別に「利息」が発生し、返済金額に上乗せして支払う必要があります。利息は金利の違いにより変わること、金利の高低は「使いみち」、「担保の有無」、「利用者の信用度」によって変わることが分かりました。先生からは、2010年6月に出資法の上限金利が29.2%から20%に引き下げられたことが伝えられました。

続いて、多重債務について確認しました。

「シリーズ教材お金のキホン お金のキホン動画④ 詐欺に遭い多重債務に」は、ホームページ制作で高収入を得られるという詐欺に遭い、多重債務に陥ってしまう大学生の事例です。

目の前の借金を返せず、他から借り入れたお金で返済する状態が多重債務に陥るメカニズムです。

多重債務の現状^{※3}は、利用者約1,016万人、貸付残高約8.8兆円で、5件以上の利用者は約10万人にも及んでいます。多重債務に陥ってしまった原因は、無計画な利用、思わぬ収入の減少、予期せぬ急な出費、詐欺被害などがあります。また、多重債務に関する相談の概況^{※4}では、低収入・収入の減少等が最も多く寄せられており、性別・年代を問わず、多重債務が身近な問題であることを確認しました。

多重債務で借金を返済できないときの解決方法を、教科書 p249「債務の整理方法」で確認しました。

多重債務に陥らないために大切なことを、「シリーズ教材お金のキホン アクティブラーニング型授業用プログラム 多重債務編 授業用スライド」で確認しました。

- ①クレジットは、必ず返済しなければならない借金であることを理解する
- ②本当に必要なものかよく考え、返済可能な金額の範囲で計画的に利用する
- ③借金返済のための借入れは絶対にしない
- ④万一、返済が困難になりそうになったら早めに相談する
- ④の相談窓口として、多重債務ほっとライン（日本クレジットカウンセリング協会）、法テラス・サポートダイヤルが教科書で紹介されています。

多重債務のまとめとして、お金のキホン動画の主人公が借金のための借金をしないよう、その行動を踏みとどまらせる言葉を教室の列ごとで話し合い、ロイロノート・スクールに記入し共有しました。

【踏みとどまらせる言葉（抜粋）】

- ・落ち着いて考えよう、それって本当に必要なことかな？
- ・クレジットカードを何枚も作る前に、親に一度相談するべき
- ・自分の収入と照らし合わせて、返済できる額を借りた方がいいよ
- ・確実に返済できる金額のときだけにして！

次時は生活設計・マネープランゲームの授業になることが伝えられ、授業は終了しました。

※1 2023年8月25日 日本銀行調査統計局「資金循環の日米欧比較」図表2 家計の金融資産構成

<https://www.boj.or.jp/statistics/sj/sjhiq.pdf>

※2 金融庁「投資の基本」リスク リスクとは

<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/knowledge/basic/index.html>

※3 2021年8月30日 株式会社日本信用情報機構信用情報提供等業務に関連する統計（2021年7月）

<https://www.jicc.co.jp/aboutus/news/a075i000004kZ9kAAE>

※4 2020年6月22日 金融庁／消費者庁／厚生労働省（自殺対策推進室）／法務省

多重債務者対策をめぐる現状および施策の動向

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/saimu/kondankai/dai15/siryou1-1.pdf>



4時間目 2023年11月21日(火) 10:00~10:50

4, 5時間目のねらいは「人生のマネープランを計画しよう~未来人からの手紙~」です。

先の見通しを持って人生選択の意思決定を行うことで、生涯安定した経済生活を営めるように工夫する重要性を理解し、設計した人生について、問題点および解決策を考察し表現していきます。

前時に学習した教育資金、住宅資金、老後資金について、それぞれの金額を改めて確認した後、生活設計・マネープランゲームに取り組むことが伝えられました。

班ごとの活動ですが、人生の選択は個人で行い、それぞれの状況を班の中で共有しながら進めていきます。20歳代から活動は始まります。収入カードに記載されている金額や仕事の特徴、思い出ポイントを確認し、それぞれ選択しました。

続いて、収入に応じた非消費支出を確認しました。ここで実際に使うことができるお金の額(可処分所得)が決まります。

次に、基本生活支出カードに記載されている金額、生活や住居の特徴を確認し、それぞれ選択しました。自動車は10年ごとに買い替えることを前提に購入するかどうかを検討しました。

ここまでの収入と支出を計算し、20歳代の貯蓄額と思い出ポイントが決まりました。

ロイロノート・スクールで状況を共有すると、すでに貯蓄額がマイナスの生徒もいました。

30歳代は、結婚するかどうかの選択から始まります。結婚する人は、共働きか片働きかを選択し、結婚資金や配偶者の生活費を確認した後、子育てについて選択しました。

家族構成が決まったところで、収入と非消費支出を確認しました。収入だけでなく働く人数、子どもの人数によって非消費支出が変わります。子どもの人数が増えると非消費支出が少なくなることに気づく生徒もいました。基本生活支出は、30歳代の家族構成などを踏まえ選択し直す生徒が多くいました。

住居カードの内容確認を進める中で、「頭金とは何か」という疑問が出てきました。ローンを利用する際に、自分が持っているお金を頭金として住宅購入に充てることで、ローンとして借りるお金を少なくすることができます。借りるお金を少なくすることで利息も少なく済みます。一括で住宅購入できる生徒はほぼおらず、ローンの利用や、賃貸を継続するかなど検討を進めました。

自動車の購入は、家族構成によってそれぞれの選択が変わり、子どもがいる場合は自動車が必要だが、ひとりであれば必要ないと決めた生徒もいました。

保険は前時に学習していますが改めて、病気や事故など不測の事態に備えるもので、保険金で支出を賄うことはできるものの、何も起こらなければ保険料は戻らないことを確認し、保険加入を検討しました。

イベント&アクシデントカードを引いて、30歳代までの貯蓄額と思い出ポイントが決まりました。

ロイロノート・スクールで状況を共有すると、結婚や子育て、住居の購入や自動車の買い替え、保険加入とイベント&アクシデントとそれぞれの人生が展開されていました。

30歳代までの人生を振り返り、人生の満足度や40歳以降の人生をどのようにしていきたいか考え、まとめました。

【30歳代までの振り返り(抜粋)】

- ・支出を減らすべきだと思った。
- ・貯蓄額が多い平凡な30歳代だったので、40歳代ではもう少し贅沢な生活をして楽しむ。
- ・貯蓄額がマイナスになったので、まずはプラスにする。
- ・反省点は、支出が増えて借金が出来てしまったこと。目標は子育てを頑張っていくこと。

5時間目は、引き続き40歳代以降の人生を体験していくことが伝えられ、授業は終了しました。

5時間目 2023年11月21日(火) 11:00~11:50

5時間目の授業は、40歳代の人生で、働き方の見直しから始めます。

転職カードに記載されている内容を確認し、起業、フリーランス、会社員のままのいずれかを選択しました。その後、班ごとに業績カードを引き、それぞれの業績状況に合わせて収入が決まりました。非消費支出を確認した後、家族構成に応じた基本生活支出を検討しました。生活に関わる支出や住居費を確認しシートに記入しました。自動車の買い替えと保険加入を検討した後、イベント&アクシデントカードを引きました。

40歳代までの貯蓄額と思い出ポイントを計算し、ロイロノート・スクールで状況を共有すると、不測の事態に備え全員が保険に加入していました。

続けて50歳代の人生に進みます。

転職について考えた後、業績カードの状況に合わせ収入が決まりました。子どもが成人して独立した家庭は、子育てにかかる費用はなくなりますが、その一方で非消費支出は増加することに気付いたようです。自動車の買い替えと保険加入を検討した後、イベント&アクシデントカードを引きました。最後に会社員のままで過ごした人は、退職金カードを引いて退職を迎えました。

60歳時点での貯蓄額と思い出ポイントを計算し、ロイロノート・スクールで状況を共有すると、貯蓄額は3,000万円以上が9人と最も多く、貯蓄額がマイナスは3人でした。思い出ポイントは40~60ポイントが6人と最も多く、10~20ポイントが2人でした。「人生で大切なものは何ですか(複数回答)」の質問には、「お金」が14人、次に「家族」が9人となりました。

ここまでの結果を踏まえ、「未来人からの手紙」を作成しました。

①60歳までの人生をシミュレーションした感想：良かったこと、やり直したいこと

②60歳からの人生を豊かなものにするには

【未来人からの手紙(抜粋)】

生徒	2023年を生きる君へ 60歳までの人生をシミュレーションした感想				
	貯蓄額 (万円)	思い出 ポイント	良かったこと	やり直したいこと	60歳からの人生を 豊かなものにするには
A	6,850	47	若い頃にたくさん楽しんだこと。年齢に合わせて車などを考えて購入したこと。	若い頃のお金の使い方を考える。	お金の使い方をよく考えること。
B	600	22	借金を返済することができたこと。	お金を使わずに、節約すれば良かった。	お金を使い過ぎないようにする。
C	-4,250	29	20歳代の貯蓄額がプラスだったこと。	贅沢をしすぎたので、もう少し質素な生活にしたい。	若い頃に貯蓄をたくさんしておき、あまり贅沢をしすぎないようにする。
D	250	14	貯蓄額がマイナスになることがなかったこと。	貯蓄額に余裕があったために、40歳代で贅沢をしすぎた。	贅沢はせずに、貯蓄をうまく使って生活をする。
E	7,950	22	お金は安定していた。50歳代で貯蓄額が3,000万円を超えており借金もなかった。	思い出が少ない。	お金は大事だけれど、思い出も大切。

先生からは、今回は現時点でのシミュレーションであること、物価や税金・社会保険料など変動があることから先を見通して計画を立てること、仕事の選択からはじまり、結婚、子育て、自動車や住宅の購入、保険加入などひとつずつ考えて選択することが、経済的に自立し安定した生活につながることを伝えられました。

た。

自分とお金との関わり方、家計管理、家計と国民経済・国際経済とのつながりについて理解し、一人一人が生涯の経済生活を見通し行動することの大切さを実感した5時間の授業となりました。

